




收受年月日	議長	事務局長	書記
29・4・24			
第 10 号			

平成 29 年 4 月 24 日

埴町議会議長 大縄武夫 様

総務常任委員会委員長 鈴木 茂



所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務の調査を下記のとおり実施したので、埴町議会会議規則第 77 条の規定により報告する。

記

1 調査事件 ひとり暮らし高齢者の見守り及び介護状況

2 調査の経過

本委員会は、本町におけるひとり暮らし高齢者の見守り状況及び介護状況について調査した。

調査日 平成 29 年 4 月 21 日（金） 10：00～10：40

出席委員 鈴木茂、七宮広樹、藤田一男、割貝寿一、吉田広明、
下重義人、鈴木孝則

説明員 健康福祉課長、高齢者支援係長

職務出席者 大縄武夫議長、議会事務局長、書記

場 所 委員会室

3 調査の結果

見守り隊は町内の 65 才以上の一人暮らしの世帯を月一回くらい定期的に訪問し、気づいたことや異常を感じたときには町に報告をするボランティアである。訪問を希望する世帯は町内で約 150 くらいである。隊員は担当地区(19 地区)を二人一組で身分証明書を携帯、見守り隊のベストを着て訪問し報告書の提出が義務付けられている。訪問先で何かあった場合は町に連絡し町は包括支援センターが再度訪問して、詳しく調査し状況に応じてケア会議や民生委員との連携もするということである。隊員はボランティアであるが、毎月 1,000 円年間で 12,000 円の謝金が支払われている。又年に 1 回隊員の研修会があり、今年度は民生委員と合同で情報交換や認知症サポーター養成講座を実施する予定であるとの説明を受けました。

委員からは、見守りの訪問回数、ケア会議の開催の有無、見守り隊の任

期、訪問時の人数、報告書の提出等に関する質疑がありました。また、見守り事業に関する連携については、見守り隊のほか民生委員、行政区長、福祉関係者をまとめる組織づくりも必要であるとの意見も出された。

今後の課題として各委員より次のようなことが挙げられました。




- ① 見守り隊員に町内中心部の人が多く遠い地域の人を担当している。
- ② 隊員の中にはかなりの高齢者がおり車の運転が心配である。
- ③ 月一回の見守り活動では間が空きすぎではないのか。
- ④ 見守りを郵便局や、新聞配達者などとの連携ができないか。
- ⑤ 高齢者の2人暮らしも見守りが必要ではないか。

(2) 所見

今後も見守りの必要な世帯は増えると予想され、見守り事業の充実に一層力を入れるべきである。また、民間との連携による見守りも重要であり、郵便局（日本郵政）との連携協定が結ばれる予定であると担当課より報告を受けている。発端は、議会の意見交換会からであり議会活動の成果であると言える。また、会津金山町では新聞販売店との連携協定を結んだとの報道もあり今後検討すべきものであり、それらも含めて町民の負託に応えられるような充実した見守り事業となるよう希望する。

(3) 委員報告書

別紙のとおり

收受年月日	委員長	事務局長	書記
29・4・24			
第 号			

総務常任委員会所管事務調査報告書

提出者 鈴木茂

日時 平成29年4月21日(金)

場所 委員会室

一人暮らし高齢者の見守り及び介護状況

説明員 健康福祉課長 係長

見守り隊は町内の65才以上の一人暮らしの世帯を月一回くらい定期的に訪問し、気づいたことや異常を感じたときには町に報告をするボランティアである。訪問を希望する世帯は町内で約150くらいである。隊員は担当地区(19地区)を二人一組で身分証明書を携帯、見守り隊のベストを着て訪問し報告書の提出が義務づけられている。訪問先で何かあった場合は町に連絡し町は包括支援センターが再度訪問して、詳しく調査し状況に応じてケア会議や民生委員との連携もするということである。隊員はボランティアであるが、毎月1000円年間で12000円の謝金が支払れている。又年に1回隊員の研修会があり、今年度は民生委員と合同で情報交換や認知症サポーター養成講座を実施する予定であるとの説明を受けました。

今後の課題として各委員より次のようなことが挙げられました。

- 1) 見守り隊員に町内中心部の人が多く遠い地域の人を担当している。
- 2) 隊員の中にはかなりの高齢者がおり車の運転が心配である。
- 3) 月一回の見守り活動では間が空きすぎではないのか。
- 4) 見守りを郵便局や、新聞配達者などとの連携ができないか。
- 5) 高齢者の2人暮らしも見守りが必要ではないか。










議員派遣
委員派遣

調査研修等報告書

平成 29 年 4 月 22 日

議会議長
委員会委員長 様



提出者 鈴木 孝則

派遣目的 (調査等 名称)	<table border="1"> <tr> <th>收受年月日</th> <th>委員長</th> <th>事務局長</th> <th>書記</th> </tr> <tr> <td>29・4・24</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>第 号</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				收受年月日	委員長	事務局長	書記	29・4・24				第 号			
	收受年月日	委員長	事務局長	書記												
29・4・24																
第 号																
派遣の 日時	平成 29 年 4 月 21 日	派遣先 (場所)	委員会室													
内容	<p>健康福祉課 ひとり暮らし高齢者の見守り及び介護状況</p>															
派遣 結果 (意見 及び 感想)	<p>65歳以上でひとり暮らしの世帯は320世帯で、このうち介護サービスを受けておらず見守り隊の訪問を希望する世帯が150世帯ある。見守り隊は現在35名に委嘱しており行政区を基本に19地区を設定し2名の方が担当し月1回以上の訪問やIP電話による安否確認を行っているという説明があった。</p> <p>メンバーを見るとかなり高齢の方も見受けられるので交通事故等には気を付けていただきたい。またメンバーが地元の行政区におらず他の行政区から派遣されている地区もあるので空白を埋める努力が求められる。</p> <p>近い将来のなり手不足に備えIP電話更新時における安否確認のシステム化を検討しておくことが大事と思います。</p> <p>産めよ増やせよの反動としての高齢化による人口自然減や働き口がないために高卒大卒の若者の流出、核家族化などより地域社会が崩壊しつつある中今後が危惧される。</p> <p>わが町に限らず子育て支援も大切だが選挙目当ての人気取りの感があり、高齢化対策のほうが喫緊の課題であり優先順位は高いと思う。</p> <p>皆でアイデアを出し合い施設に頼るばかりではない埴町ならではの高齢者対策を考えていかなければならないと思います</p>															

議員
派遣
委員
派遣

調査研修等報告書

議会議長
委員会委員長

收受年月日	委員長	事務局長	書記
29・6・7			
様 第	号	提出者	

29 年 6 月 7 日

藤田 一男

派遣目的 (調査等 名称)	高齢者見守り隊について		
派遣の 日時	平成 29 年 4 月 21 日	派遣先 (場所)	委員会室
内容	ひとり暮らし高齢者の見守り及び介護状況		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	<p>見守り隊の人たちも大変な仕事であり訪問者のなり手がいないようであり人員の確保が大変である。努力していただきたい。</p> <p>65 歳以上の一人住まいの方への訪問ということだが、中には迷惑に思う方もいるようなのでよくそのところを精査して訪問をしていくべきと思われる。報酬が少ないのに手続きや報告書などが大変でなる人が少ないのではないかと。又、那倉地区で一人住まいの方が孤独死していたので訪問の回数を多くしてほしいとの要望があったが回数を増やしても防げなかったと思われる。見守り隊の方の中には高齢者もおり運転には十分に注意をしていただきたい。今後は郵便局員や新聞配達員との提携が望まれる。この報告書を提出するのが遅くなってしまいましたが、現在は郵便局員などと提携が済んでいるとの報道がありました。</p>		

総務常任委員会委員 所管事務調査等報告書

平成 29年4月24日

鈴木 茂 総務常任委員長 様

第 号

委員長	事務局長	書記

提出者 吉田 広明

派遣目的 (調査等 名称)	ひとり暮らし高齢者の見守り及び介護状況／健康福祉課		
派遣の 日時	平成29年4月21日	派遣先 (場所)	埴町議会委員会室
内容	ひとり暮らし高齢者の見守り及び介護状況説明を受ける。 1、高齢者見守り隊の内容について、 2、包括支援センターの見守り状況について 3、担当課職員の見守り状況について、 4、上記三者の連帯状況について、		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	<p>見守り隊は、ボランティアとして35名（H29年4月現在）で埴町全域をサポートしている。町内の訪問員が2名と少なく、他地区からの応援訪問員に助けられている。対象者は65歳以上で144名／3,066名（H29年4月現在）である。訪問員の不在行政区は人員確保に向けて、今後検討すべき課題である。このような現状下で、訪問員は居住区域外までのサポートに及んでいる。活動謝金として、月額／1,000円、年額／12,000円のガソリン代程度と活動中のボランティア保険月額／800円を支払っている。月2回以上の訪問が望ましいとの討議もあったが、この活動謝金では、お願いするのが難しいかも知れない。また、報告書の提出は6ヶ月ごととあり、提出義務回数を増やすとの討議もあったが、これも負担となり、訪問員の確保をより難しくすると思われる。</p> <p>「議員と語ろう」那倉地区懇談会では、孤独死などの事例の話が住民から出されたが、高齢者は特に突然に死亡される場合もあり得るので、質疑の中で、「郵便局配達員や新聞配達員の方々の協力体制の構築を急ぎ、状況把握に務めるべきある。また、IP電話の活用なども考えるべき」などの意見があり、今後の検討事項と思われる。</p> <p>これから2025問題があり、見守り高齢者の増加が見込まれるので、体制整備が急務であり、行政区単位での対応が必要である。</p>		

議員派遣
委員派遣
調査研修等報告書

議会議長
委員会委員長

收受年月日	委員長	事務局長	書記
機・5・18			
第 号	提出者 下重 義人		

平成29年5月 日

派遣目的 (調査等名称)	総務常任委員会 所管事務調査		
派遣の日時	平成29年4月21日 午前10時	派遣先 (場所)	委員会室
内 容	<p>ひとり暮らしの高齢者の見守り及び介護状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者見守り隊の内容 ・包括支援センターの見守り状況 ・担当課職員の見守り状況 ・上記三者の連携状況 		
派遣結果 (意見及び感想)	<p>ひとり暮らしの高齢者の状況を健康福祉課長より説明を受けましたが、該当する人数144名の他、夫婦2人暮らしの高齢者も沢山の方が居るのではないかと思います。</p> <p>ひとり暮らしに関わらず、高齢者が住んでいる家には、声かけ、安否確認をしてみてもと思います、また、高齢者が住んでいる地元住民の方も絶えず、目配り、気配りを行ない地区での見守り隊的な組織づくりをすれば防犯にも繋がるのではないかと思います。</p> <p>町内には65歳以上のひとり暮らし世帯は約320世帯ありますが、見守り隊の訪問を希望されている方は、現在144名なので今後、安全安心の為にも見守り隊訪問を希望してみたいかがでしょうか、最後に高齢者見守り隊の増員を望みたいものです。</p>		